

CIインサイトレポート - P D - 【 目次見本 】

2019. 7
株式会社社会情報サービス
Social Survey Research Information Co., Ltd

§ レポート全体概要

* 調査重点薬剤

調査対象疾患	P D (パーキンソン病)		
調査ポイント	既存薬	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 処方段階別の薬剤選択状況の分析 ➤ ニュープロパッチのヒット要因についての検証 ➤ アジレクトの今後の処方動向を予測 	
	開発薬	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 申請中のHP-3000、サフィナミド、オピカポンのポテンシャル・上市後の処方動向を徹底検証・予測！ ➤ 抗α-シヌクレイン抗体の受容性について徹底検証！ 	
	将来動向	<p style="color: red; text-align: center;"><上記開発品3剤の処方動向予測を踏まえた上で></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>P D治療のパラダイムシフトを徹底予測！</u> 	
対象薬剤	既存薬	L-DOPA、DA経口剤（レキップCR 等）、MAO-B阻害薬、COMT阻害薬、L-DOPA賦活薬（ゾニサミド）、アデノシンA2A受容体拮抗剤（イストラデフィリン）	
		DA貼付剤	ニュープロパッチ（ロチゴチン）
		MAO-B阻害薬	アジレクト（ラサギリン）
	開発薬	DA貼付剤	HP-3000 ロピニロール
		MAO-B阻害薬	ME2125 サフィナミド
		COMT阻害薬	ONO-2370 オピカポン
		アデノシンA2A受容体拮抗剤	KW-6356
		ドパミン受容体刺激作用	KDT-3594
		グルコシルセラミド合成酵素（GCS）阻害剤	venglustat
		抗α-シヌクレイン抗体	-

§ Part別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	深層面談調査
調査対象医師 (対象医師数)	-	PD患者を診療している医師 222名 <内 対象薬剤治験参加医 38名>	PD TOP KOL 3名 <関連学会理事・役員>
調査対象施設・ 診療科	-	神経内科<HP/GP共に>	神経内科
調査内容	<p><既存薬> プロファイル、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p><開発薬> プロファイル、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p><その他> 注目企業動向、学会情報</p> <p><別添> 抄録集 (関連論文)</p>	<p><既存薬> ● ガイドライン参考状況 ● 病期別処方段階別薬剤処方状況 ● ニュープロパッチの処方状況・評価 ● アジレクトの評価・今後の処方動向</p> <p><開発薬> ● 開発薬の薬剤別認知状況 ● 開発薬の薬剤別処方意向・期待度</p> <p><対象薬剤種類別今後の処方動向> 【対象：DA貼付剤、MAO-B、COMT】 ● 開発薬発売後の薬剤種類別処方意向・ ポジショニングの変化・処方時の薬剤優先順位</p> <p><今後の薬剤処方動向> ● 病期別処方段階別薬剤処方動向予測</p> <p>● 抗α-シヌクレイン抗体、遺伝子治療の 臨床上的受容性</p> <p>等</p>	<p><既存薬> ● 病期別処方段階別薬剤処方状況* ● ニュープロパッチの処方状況・評価* ● アジレクトの評価・今後の処方動向*</p> <p><開発薬> ● 開発薬の評価 ● 新規治療薬としてのポテンシャル*</p> <p><対象薬剤種類別今後の処方動向> 【対象：DA貼付剤、MAO-B、COMT】 ● 開発薬発売後の薬剤種類別処方意向・ ポジショニングの変化・処方時の薬剤優先順位*</p> <p><今後の薬剤処方動向> ● 病期別処方段階別薬剤処方動向予測*</p> <p>● 抗α-シヌクレイン抗体の臨床上的受容性* ● 国内での開発が要望される薬剤</p> <p>等</p> <p>*の項目は、国内全体動向について予測</p>
調査実施時期	2019年6月～7月		
体裁/頁数	Part I・・・PPT (or EXCEL)、Part II & III・・・PPT / A4 計約500ページ (報告書本編のみ、別添は含まない)		
レポート価格	フルセット<3パート> 180万円 (税別)		*Part別販売 可

< Part I データ分析編 目次 >

S. 調査概要	3		
I. 既存品	4	IV. 学会情報	53
1. プロファイル	5	1. 日本神経学会学術大会	54
2. 作用機序・特性	11	2. パーキンソン病・運動障害疾患コンgres	58
3. 薬価	21	3. 日本神経治療学会	66
4. 販売高推移	29	4. 世界パーキンソン病コンgres (WPC)	68
5. 臨床試験 (UMIN)	30	5. 日本定位・機能神経外科学会	69
6. 臨床試験 (JAPIC)	37		
II. 開発品	40	V. 関連文献	71
1. プロファイル	41	1. 既存品	
2. 作用機序・特性	44	1-1. 既存品・製品別	72
3. 臨床試験 (JAPIC)	46	1-2. 既存品・複数	93
		2. 開発品・製品別	101
III. 注目企業動向	48	3. 既存品+開発品	105
1. 武田薬品工業株式会社	49		
2. 協和キリン株式会社	50		
3. 大塚製薬株式会社	52		

< Part II 定量調査 要約編 目 次 >

	ページ
§.調査概要	3
§.回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	12
1) 診療状況	13
2) 治療薬の処方状況・評価	18
3) DA貼付剤ロチゴチン(ニュープロパッチ)の処方状況・評価	34
4) MAO-B阻害薬ラサギリン(アジレクト)の評価・今後の処方動向	37
5) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	41
6) 今後の薬剤処方動向(対象開発薬3剤発売後)	55
7) 抗 α -シヌクレイン抗体の認知状況・臨床上での受容性	85
8) 遺伝子治療の認知状況・臨床上での受容性	89

< Part II 定量調査 結果編 目 次 >

	ページ		ページ
§.調査概要	3		
§.回答者プロフィール	4		
§.調査結果	5		
1) 診療状況	6	5) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	75
1.診療患者数	7	1.開発薬の治験参加状況	76
2.病期(早期・進行期)別薬物療法実施状況	8	2.開発薬の薬剤別認知状況	77
3.実臨床上でのガイドライン参考状況	13	3.開発薬の薬剤別処方意向・期待度	93
		4.開発薬の薬剤別期待ポイント	116
2) 治療薬の処方状況・評価	15		
1.病期別処方形態別実施状況	16	6) 今後の薬剤処方動向(対象開発薬3剤発売後)	143
2.病期別薬剤別処方状況	22	1.対象薬剤種類/化合物別処方意向・位置付けの変化	144
3.処方段階別薬剤別処方状況	38	2.対象薬剤種類/化合物内での切り替え意向	175
4.薬剤別満足度	41	3.対象薬剤種類/化合物における薬剤別優先順位	196
		4.処方段階別薬剤別処方状況	217
3) DA貼付剤ロチゴチン(ニュープロパッチ)の処方状況・評価	48	5.薬剤選択の際に参考にするチャンネル	226
1.貼付剤を優先的に処方する患者タイプ	49		
2.処方のメリット	57	7) 抗 α -シヌクレイン抗体の認知状況・臨床上的受容性	259
		1.認知状況・発売後の処方意向	260
4) MAO-B阻害薬ラサギリン(アジレクト)の評価・今後の処方動向	64	2.現状で想定される処方対象患者数	265
1.製品評価(セレギリンとの比較)	65		
2.今後の処方意向	68	8) 遺伝子治療の認知状況・臨床上的受容性	270
3.今後増加が見込まれる処方パターン	69	1.認知状況・発売後の処方意向	271
		2.現状で想定される処方対象患者数	276

< Part Ⅲ K O Lヒアリング編 目 次 >

§ 調査概要	3
§ 調査対象医プロフィール	5
§ Summary	6
§ 調査結果	
1. 現状の処方段階別薬剤処方状況	16
2. ニュープロパッチの処方状況と製品評価	19
3. アジレクトの製品評価と今後の処方動向	22
4. 開発薬の評価	24
5. 同一薬剤種類及び化合物内での処方薬剤の切り替えの可能性	30
6. 薬剤種類及び化合物別処方時の薬剤の優先順位	32
7. 今後の処方段階別薬剤処方の変化動向	35
8. 抗 α -シヌクレイン抗体に対する印象と臨床上での受容性	37
9. 新薬開発に対する要望及び国内での開発が要望される薬剤	40